

メイスイ浄水器

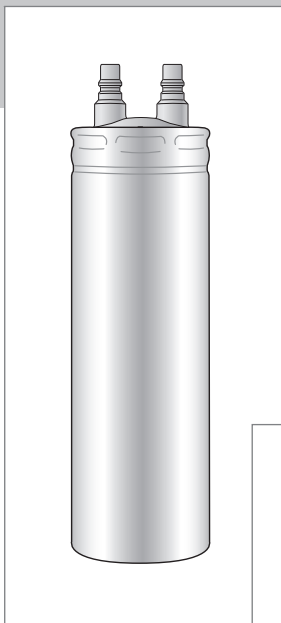
Meisui

日本水道協会認証品

元止水栓用：Ⅱ形 Ge・1Z-FHGS

引出式複合水栓付浄水器

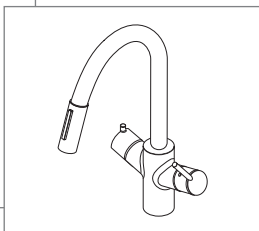
取扱説明書



メイスイの浄水器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は浄水器を正しくご使用いただくためのものです。ご使用前にお買い上げいただきました浄水器の型式名をお確かめください。

- この取扱説明書を最後までよくお読みになり正しくご使用ください。
- お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



保証書付

保証書はこの取扱説明書の19ページについております。お買求めの際は、必ず「据付日・販売店名」などが記入されていることを確かめてからお受取りください。

便利メモ

■浄水器カートリッジ交換日などをご記入されると便利です。

●浄水器据付日	年	月	日	年	月	日
●浄水器カートリッジ交換日				年	月	日
	年	月	日	年	月	日
	年	月	日	年	月	日
	年	月	日	年	月	日

(日本水道協会認証登録番号 浄水器 W-15 / 水栓C-462)

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく事を、次のように説明しています。

**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- 「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています（下記は、絵表示の一例です）。

**この表示は、必ずお守りいただく「強制」内容です。**



この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

も く じ

ご使用の前に	安全にお使いいただくためのご注意	3
	特 長	5
	各部の名前	6
	混合水栓の使用上の注意	7
	混合水栓の使用方法	10
	混合水栓のお手入れ方法	11
浄水器カートリッジについて	浄水器カートリッジの交換時期について	12
	付属部品「U字プラグ」について	13
	浄水器カートリッジの交換方法	14
困ったとき	異常が生じた場合 修理を依頼される前に	16
	水漏れ	17
保証仕様	保証について／仕様	18
	保証書	19

安全にお使いいただくためのご注意

警告

！ 水道水にのみお使いください。

浄水器には殺菌作用がありません。水道水以外の水に病原菌が混入していれば、それが原因で健康障害を生じるおそれがあります。

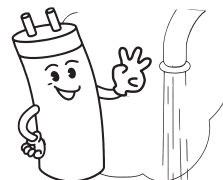
注意

安全にお使いいただくために。

！ 新しい浄水器をお使いいただくときは、気泡が消えるまで**3分以上**放水してください。また水漏れがないことを確認してお使いください。



！ 毎朝のお使いはじめには、**10秒間以上放流**してください。また2日以上お使用にならなかったときは、**3分以上放流**してください。



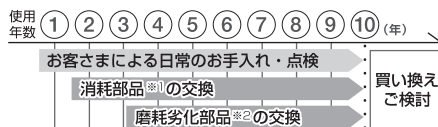
！ 浄水器は断水後の赤水、濁り水もろ過します。ただし、目詰まり要因になりますので、緊急でなければ浄水器が接続されていない水栓からしばらく水を流したあとご使用いただくと、浄水能力が長持ちします。

○ 開放した容器に汲置きしないでください。殺菌作用がなくなっており早く腐敗します。



保管する場合は、清潔な容器に密閉し、一度使用したらその日のうちに使い切ってください。

！ 部品交換について
水栓の性能を維持し、水漏れなどの不具合を防ぐためには、定期的な部品交換が必要です。



※1 消耗部品…パッキンなど
※2 磨耗劣化部品…逆止弁、切替弁仕組み、セラミックカートリッジ、シャワースプレーホースなど

！ 冬期、浄水器カートリッジ内部の水が凍結するおそれのあるとき、浄水レバーを閉じずに**1分間に200～300ml位の水を一晩中出して**おいてください。凍結すると破損の原因になります。

！ 浄水器カートリッジは消耗品です。必ず定期的に浄水器カートリッジを交換してください。

○ 汚れた手などで、吐水口に触れないでください。一般細菌が吐水口から混入するおそれがあります。

！ 吐水口は汚れたり、水アカがつくことがあります。1ヶ月に1回、P.11の「混合水栓のお手入れ方法」にしたがってお手入れしてください。

ここに示した△表示は状況により重大な結果を招く可能性があることを示しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

△ 注意

❗ 水漏れ事故はお客様だけでなく近隣にも多大な迷惑、損害を与えます。水漏れや器具の破損などによる事故を避けるため、下記の項目を必ずお守りください。

❎ 浄水器カートリッジの出口、入口の接続を間違わないでください。
浄水が出ません。また破損、水漏れのおそれがあります。

❎ 35℃以上の温水を浄水器に通さないでください。

❎ 浄水器や接続部に強い衝撃を与えないでください。

❎ 給水、給湯用止水栓以降、特に混合水栓には他の給水器具を接続しないでください。

❎ 水圧が0.5MPa (5.1kgf/cm²) より高い所では、使用しないでください。

❎ 高温の器具（フライパンなど）を近づけないでください。
浄水器が変形します。

❎ 混合水栓のレバーハンドル操作時、上げ下げを急激に行ったり、無理な力を加えたりしないでください。また、レバーハンドルに物などを吊下げないでください。

❗ 水漏れなどがないか接続部や浄水器を1ヶ月に1回点検してください。

❎ お客様自身での分解・修理はしないでください。

❎ この浄水器カートリッジは寒冷地仕様ではありません。凍結が予想される場所では、使用しないでください。

❎ 混合水栓は、凍結のおそれがある場所に取付けないでください。凍結により故障する場合があります。

❎ 配管パイプ、止水栓、浄水器に他の器具を当てないでください。

❎ 塩素系洗浄剤・漂白剤は使用したり、近づけたりしないでください。
水や湿気に反応して発生するガスがステンレス・銅などの金属やプラスチックおよびゴムなどの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでご使用ください。

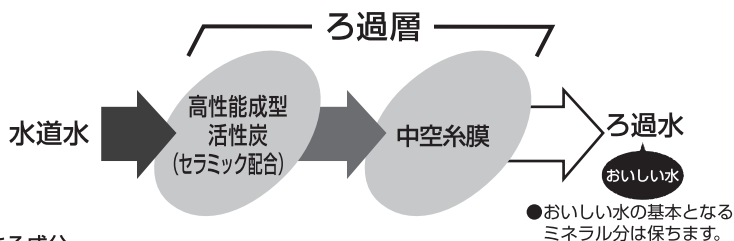
❗ 台所で使われる洗剤、殺虫剤、防腐剤その他の薬品類はそれぞれの容器などに記載されている注意事項を必ずお守りください。
使い方を誤ると、人体に悪影響をおよぼしたり浄水器、水栓、配管がいたみ、水漏れや故障の原因となることがあります。

❎ 清掃には、中性洗剤以外の洗剤やシンナー、ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
浄水器カートリッジ、クイックジョイント、水栓のレバー部などは樹脂部品を使用しています。
※水栓が汚れたときは、P.11のお手入れ方法を参照してください。

❎ 専用の浄水器カートリッジ以外は取付けないでください。

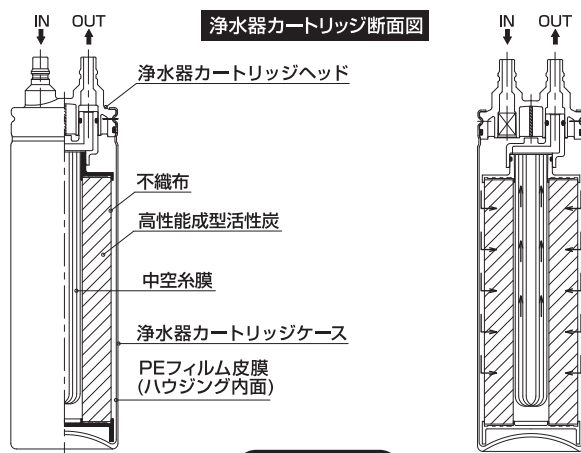
■ Ge・1Zの特長

中空糸膜採用、高性能ろ過方式の浄水器



▼除去できる成分

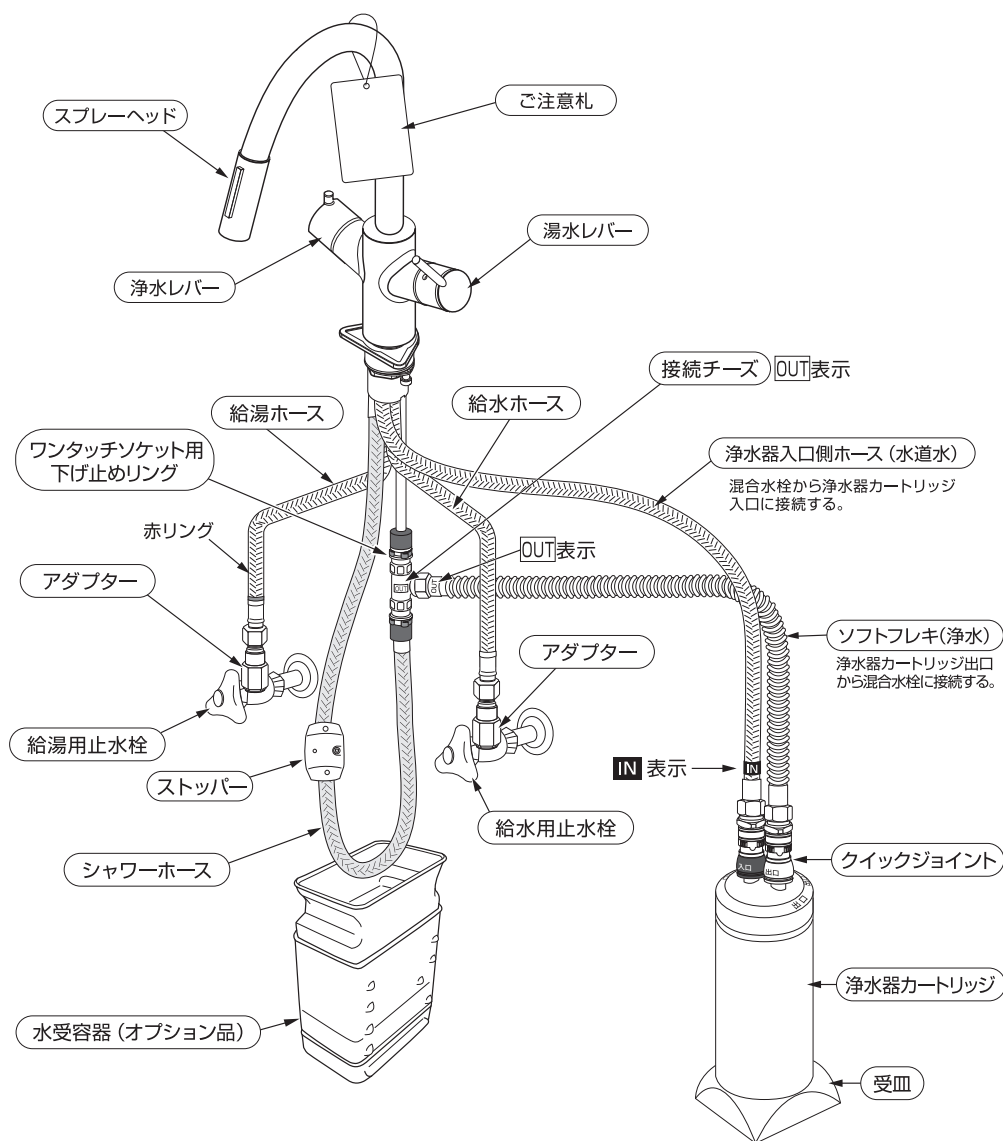
- 遊離残留塩素 ●カビ臭 ●総トリハロメタンなどの消毒副生成物 ●テトラクロロエチレンなどの有機塩素化合物
- CAT ●濁り ●溶解性鉛 ●陰イオン界面活性剤などの有機化合物
- 表面積が大きく、吸着性能が優れたヤシガラ粉末活性炭を特殊技術で均一に成型した高性能成型活性炭と中空糸膜のろ過構造です。
- 遊離残留塩素や総トリハロメタンなどの消毒副生成物、テトラクロロエチレンなどの有機塩素化合物、CAT(農薬)、カビ臭、溶解性鉛、陰イオン界面活性剤などの有機化合物および0.15μm以上の不純物(濁り、鉄サビ、アルミニウムなど)を取除きます。



ご利用方法



各部の名前



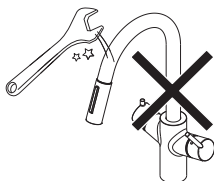
※設置場所の状況によっては水受容器が横向きに設置されている場合もあります。

混合水栓の使用上の注意 必ずお守りください

⚠ 注意

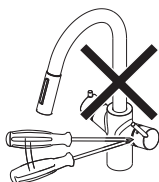
 水栓に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や水漏れの原因になります。



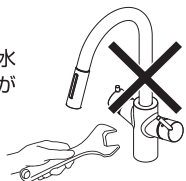
 水栓の取外し、再設置はしないでください。

水栓を取外したり、再設置したりする場合には、お買上げの販売店または（株）メイスイ営業所へお問合わせください。



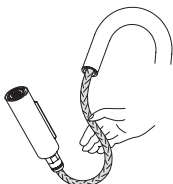
 水栓の分解、改造はしないでください。
分解禁止

破損し、やけど、けが、水漏れなどの発生のおそれがあります。



 湯の使用時、または直後にシャワーホースや混合水栓本体の高温部に直接触れないでください。
接触禁止

高温でご使用時、混合水栓本体の金属部分が高温になり、やけどをするおそれがあります。高温でご使用後は、安全のためしばらく水を流し冷してください。



 温度を確認してください。

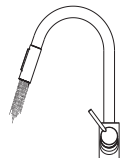
お湯をお使いになる時は、必ず水側から開栓してください。

その後徐々に湯側を開栓し、好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。



 お湯を使用したあとすぐ水または浄水を使用する時は、しばらく水を流してください。

水栓内に滞留した高温のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

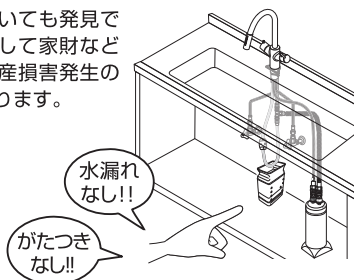


 使用後はレバーを必ず「水」の位置に戻してください。

レバーを高温の位置にしたまま止めていると、次に使用するとき熱湯がでてやけどをするおそれがあります。

 1ヶ月に1回、混合水栓や配管の回りを見て水漏れやがたつきがないことを確認してください。

水漏れしていても発見できず、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

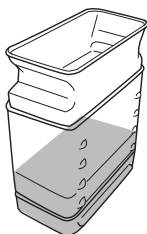


混合水栓の使用上の注意 必ずお守りください

⚠ 注意

❗ 混合水栓下部に取付けられている水受容器（オプション品）は、シャワーホースを伝って落ちる水を受けるためのものです。水受容器の水が溢れると、漏水事故につながりますので、一ヶ月に一回、定期的に水が溜まっていないことをご確認ください。

水が溜まっている場合は捨ててください。



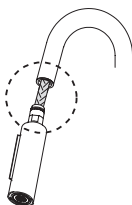
⊘ スプレーヘッド先端に分岐継手などをつけないでください。

ホースなどから漏水し家財などに損害を与える場合があります。



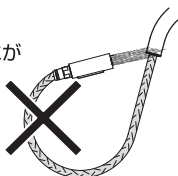
❗ 1ヶ月に1回、スプレーヘッドとホースのネジ部に緩みがないことを確認してください。

ネジが緩んでいると、シンク下に水が漏れ、思わぬ漏水事故につながるおそれがあります。ネジが緩んでいる場合は、P.11の「混合水栓のお手入れ方法」を参照に締付けてください。



⊘ シャワーホース挿入部に水をかけないでください。

キッチンの下部ユニットに水が侵入するおそれがあります。



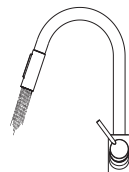
❗ シャワーホースは軽くふいて水切りしてから収めてください。

キッチンの下部ユニットに水が侵入するおそれがあります。ときどき水受容器（オプション品）に水が溜まっていないことを確認してください。



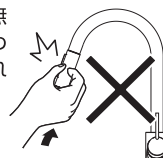
❗ お湯を使用したあとすぐ水または浄水を使用する時は、しばらく水を流してください。

水栓内に滞留した高温のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



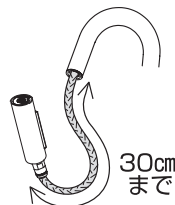
⊘ シャワーホルダーを回転させるときなどに、スプレーヘッドに無理な衝撃や荷重をかけないでください。

スプレーヘッドの付け根に無理な荷重がかかり損傷し思わぬ漏水事故につながるおそれがあります。



⊘ シャワーホースは30cm以上無理に引出さないでください。

通水不良や水漏れ、作動不良の原因になります。



⚠ 注意

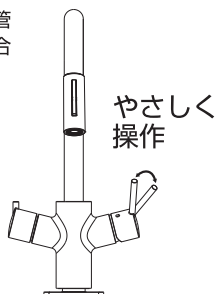
⊘ シャワーホースは力を加えて折り曲げないでください。

通水不良や水漏れ、破損するおそれがあります。



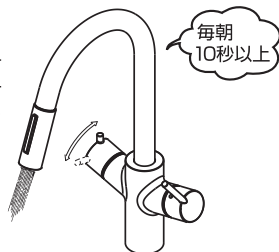
⚠ レバー操作はやさしくしてください。

急激な操作をすると、配管部で高い音を発生する場合があります。



⚠ 浄水使用前に捨て水をしてください。

浄水を使用するときは、毎回必ず浄水レバーを開き浄水を3秒間通水してください。



毎朝のお使いはじめには10秒間以上放流してください。

⚠ 長時間使わなかったときは

まず、湯水レバーを開き水道水をしばらく流し、次に浄水レバーを開き浄水を3分以上通水してから使用してください。

(断水などで配管内に発生した濁りを先に流し、浄水器カートリッジを長持ちさせます。)

① 水道水を流す

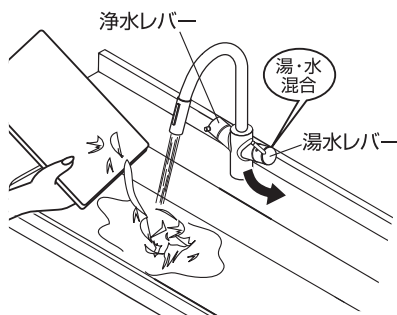
② 浄水を流す



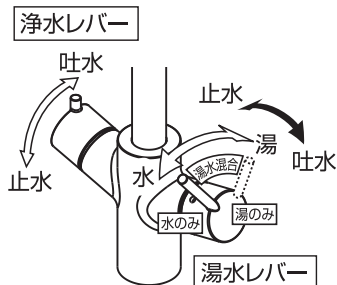
⚠ 浄水レバーを閉栓したとき、しばらく水が止まりにくい場合があります。これは、浄水器と元止水栓の特徴で、故障ではありません。

⚠ ディスポーザーをご利用になる際は、「湯水レバー」を湯・水混合に調整のうえご使用ください。

浄水でディスポーザーを使用されますと、流量不足により粉砕物が配管に詰まり、家財などを破損するおそれがあります。また、浄水で使用すると、浄水器カートリッジの交換時期が早まります。



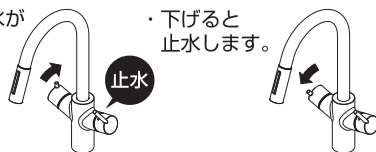
混合水栓の使用方法



■浄水の量は浄水レバーの上下で調整します。

・上げると浄水が出ます。

・下げると止水します。

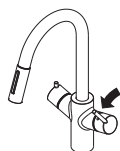


⚠ 注意

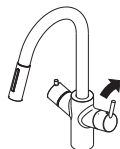
❗ 必ず湯水レバーを止水の状態にしてから、浄水を使用してください。
湯水レバーが吐水状態で浄水を出すと、浄水と水道水が混ざります。

■湯の温度は湯水レバーの上下で調整します。

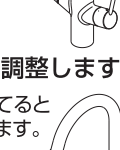
・湯水レバーを一番手前に下げたとき水のみが出ます。



・湯水レバーを奥に上げると次第に湯が出始めます。



・湯水レバーを一番奥まで上げると湯のみが出ます。

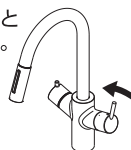


■湯水の量は湯水レバーの左右で調整します。

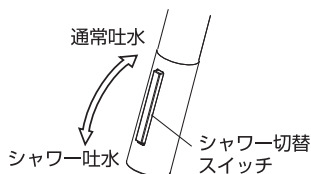
・右に倒すと湯水が出ます。



・左に立てると止水します。



■吐水の切替



- | | |
|------|---------------------------------|
| シャワー | シャワー切替スイッチの下方を押すと「シャワー吐水」になります。 |
| 通常 | シャワー切替スイッチの上方を押すと「通常吐水」になります。 |

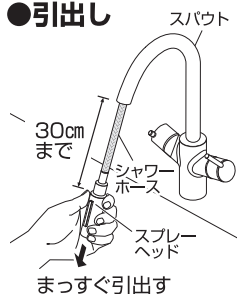
※ 止水した後または吐水量が少ない場合、自動的に通常吐水に切替わります。



湯水の吐水量が多いと水はねするおそれがあります。その場合は湯水レバーを操作して吐水量を絞ってご使用ください。

■FHG水栓シャワーホースの引出し・収納方法

●引出し

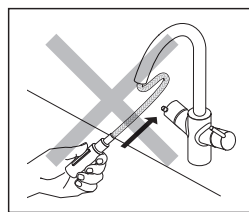


❗ シャワーホースは、スパウトに対してまっすぐ引出してください。

横方向に引出すと、シャワーホースが折れ曲がり、通水不良や水漏れの原因になります。

⊘ シャワーホースは30cm以上無理に引出さないでください。
通水不良や水漏れ、作動不良の原因になります。

●収納

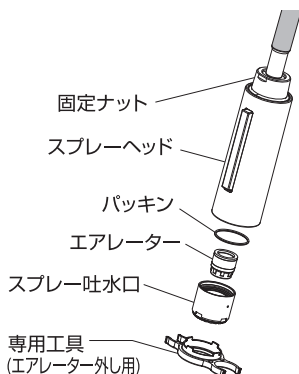


❗ シャワーホースに手をそえてまっすぐ収納してください。
シャワーホースを無理に収納しようとする、シャワーホースが折れ曲がり、通水不良や水漏れの原因になります。

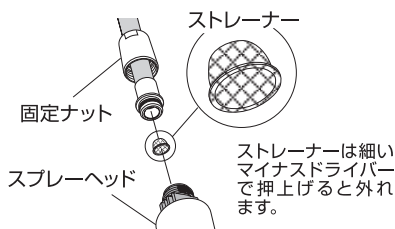
混合水栓のお手入れ方法

エアレーターやストレーナーが詰まると吐水量の減少や、温度調節が出来なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき分解してブラシなどで掃除してください。

スプレー吐水口を専用工具で取外し、スプレー吐水口とエアレーターを取出します。



スプレーヘッドを引出し、スパナなどで固定ナットを緩めてください。ストレーナー掃除後、逆の手順で固定ナットを締付けてください。



⚠ 注意

❗ 固定ナットは確実に締付けてください。締付けがゆるいと水漏れし、思わぬ漏水事故につながるおそれがあります。

お手入れ

損傷や、器具の不具合を防ぐため、お手入れにあたっては、次の点にご注意ください。
不適切な取扱いによって発生した損傷は、製品保証の対象にはなりません。

⚠ 注意

- ❗ スプレー洗剤を使用する場合、洗剤溶液を直接水栓に噴きつけず、やわらかい布やスポンジなどに噴きつけて使用してください。
- ❗ 洗剤を使ってお手入れした後は、十分に洗い流し、水栓に付着している洗剤を残らず取除いてください。
- ⊘ 酸性洗剤、塩素漂白剤を含有する洗剤はメッキを侵しますので、絶対に使用しないでください。
- ⊘ 水栓の表面を傷つけるようなものは絶対に使用しないでください。
 - ・ クレンザーや磨き粉などの粗い粒子を含んだ洗剤
 - ・ ナイロンたわし、たわし、ブラシなど
 - ・ 研磨剤、スポンジパッド、マイクロファイバー布など研磨を目的とした洗剤や用具

浄水器カートリッジの交換時期について



注意

❗ 浄水器カートリッジは消耗品です。使用限界内に必ず交換してください。

Ge・1Z 浄水器カートリッジの使用限界は12ヵ月以内または、11,000L以内です

なお、浄水器カートリッジの交換時期は使用水量、原水質、給水設備、水压などにより、交換時期が早まる場合があります。

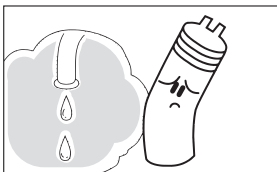


注意

❗ こんな現象が現れたら浄水器カートリッジの交換を！

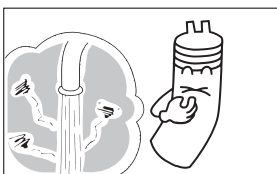
水量が極端に減少
した場合

(浄水器カートリッジが目詰まり)



においや変な味が
する場合

(除去性能が低下)



お買上げの販売店、
または
(株)メイスイ営業所へ
お問合わせのうえ、
適切なメンテナンスを
お受けください。



注意

浄水器カートリッジは消耗品です。使用限界内に交換しなければ……

- 浄水器カートリッジ内に不純物が蓄積し、浄水能力が著しく低下、同時に非衛生的になります。
- 浄水器カートリッジの目詰まりや浄水器カートリッジハウジングが劣化すると水漏れすることがあります。お客様だけでなく近隣にも多大な迷惑、損害を与えることがあります。

❗ 浄水器カートリッジを使用限界内で交換されないときは、浄水器カートリッジを取外し、U字プラグを接続してください。使用を再開される際は……

浄水器カートリッジは消耗品ですから交換は有料になります。

	Ge・1Z
フルメンテナンス	16,500円
セルメンテナンス	11,000円

※この価格は税込みです。

※フルメンテナンスはメイスイカスタマースタッフが訪問し、浄水器カートリッジの交換と同時にサニテーションを実施します。また、浄水器カートリッジは回収し、再資源化を図ります(水栓・配管の部品入替は別途)。フルメンテナンスの作業により、製品・部品の保証延長を約束するものではありません。

※セルメンテナンスは浄水器カートリッジを送付しますので、お客様自身で交換してください(別途配送料550円(税込み)を申受けます)。

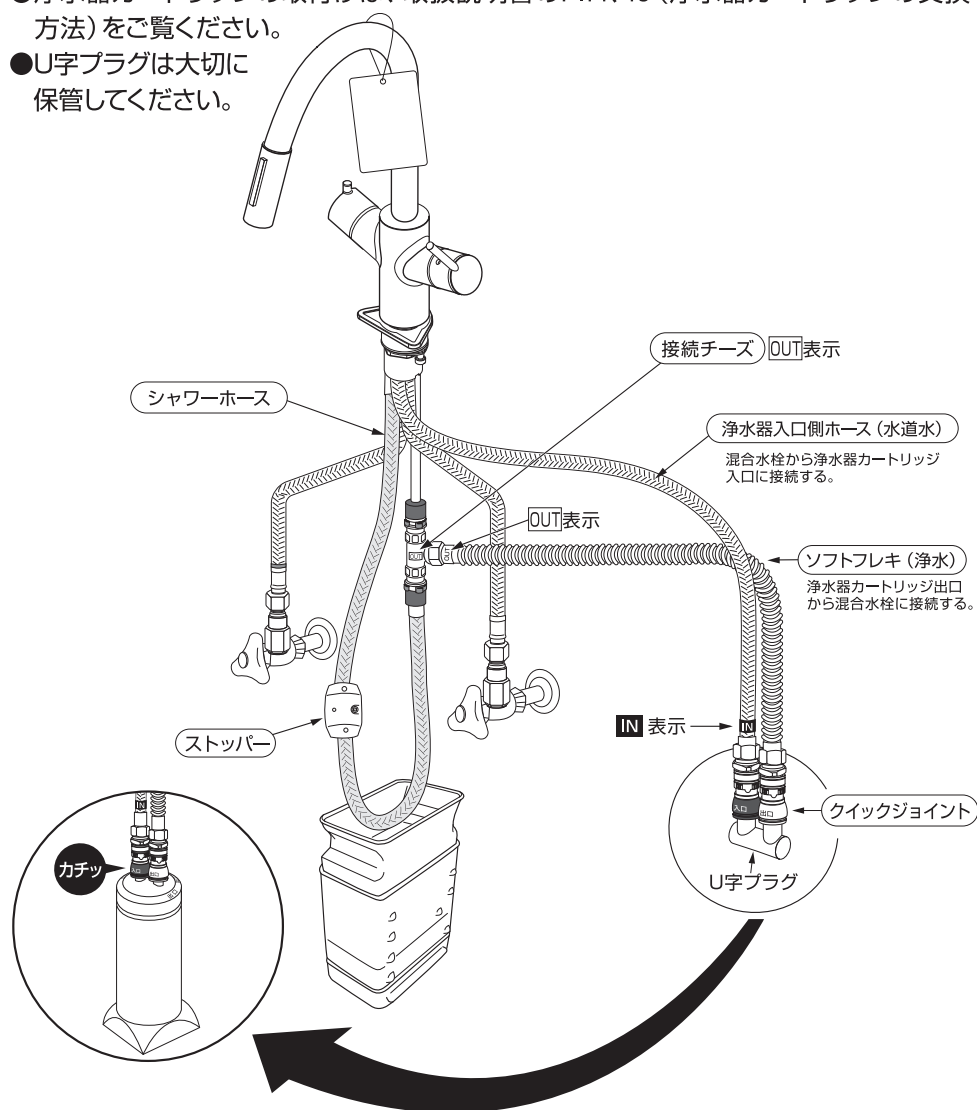
使用済み浄水器カートリッジは再資源化を図るため、メイスイへご返送ください。

※価格、外観、仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

付属部品「U字プラグ」について

当社では、浄水器据付け後、実際にご使用されるまでの期間が長い場合は、浄水器カートリッジを清潔に保つために、取付工事の際、浄水器カートリッジの代わりに、「U字プラグ」を接続しています。

- ご使用前に必ずシンク下をご確認ください。
- U字プラグが接続されている場合は、U字プラグをはずし、浄水器カートリッジを接続してください。
- 浄水器カートリッジの取付けは、取扱説明書のP.14、15（浄水器カートリッジの交換方法）をご覧ください。
- U字プラグは大切に保管してください。



浄水器カートリッジの交換方法

⚠ 注意 専用の浄水器カートリッジ以外は取付けないでください。

1 混合水栓を閉じます



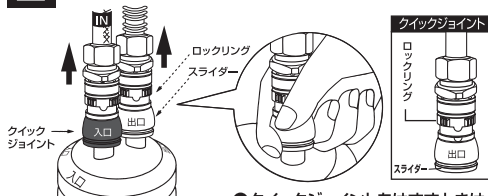
STOP

元止め式ですので、止水栓を開める必要はありません。

⚠ 注意

浄水器カートリッジ交換作業のとき、新しい浄水器カートリッジの入口・出口ノズル部およびクイックジョイントを汚れた手などで触らないでください。

2 クイックジョイントをはずします



浄水器カートリッジと配管(2本とも)をつないでいるクイックジョイントを上げてください。

●クイックジョイントをはずすときは、ロックリングを90度回しロックを解除状態にしてから、スライダーを上げてください。

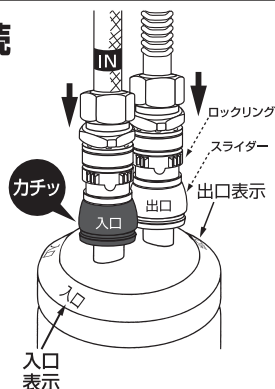
⚠ 注意 クイックジョイントは清潔に取扱ってください。

5 クイックジョイントの接続

⚠ 注意

- 出口、入口(IN)の接続を間違わないでください。浄水ができません。また、破損、水漏れのおそれがあります。
- ノズル部は清潔に取扱ってください。

- 浄水器カートリッジの出口表示側ノズルに、出口表示のクイックジョイントを「カチッ」と音がするまでしっかりと差込んでください。
- 浄水器カートリッジの入口表示側ノズルに、入口表示のクイックジョイントを「カチッ」と音がするまでしっかりと差込んでください。
- ロックリングを90度回転させて、**ロック状態**にしてください。



⚠ 注意

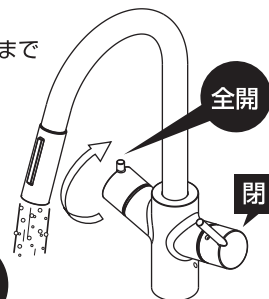
- クイックジョイントは「カチッ」と音がするまでしっかりと差込んでください。
- ロックリングを90度回転させて、必ず**ロック状態**にしてください。
- 確実にセットされているか、クイックジョイントの上部を引張って必ず確認してください。差込みがゆるいと水漏れの原因になります。

7 3分間放水と水漏れチェック

- 浄水レバーを、ゆっくり上げながら全開にしてください。
- 気泡が消えるまで3分以上放水してください。
- そのままの状態、浄水器各部から水漏れがないことを確認してください。

気泡が消えるまで放水する。

3分以上

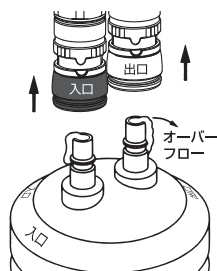


■浄水器カートリッジの交換は、必ず下記の手順にしたがってください。
手順、接続を間違えますと、水漏れ、故障の原因となります。

3 クイックジョイントを浄水器カートリッジヘッドから引抜きます

△ 注意

- ❗ クイックジョイントを引抜いたときに、浄水器カートリッジ入口、出口ノズル部から少量の滞留水がオーバーフローします。布などで床に水がこぼれないようご注意ください。

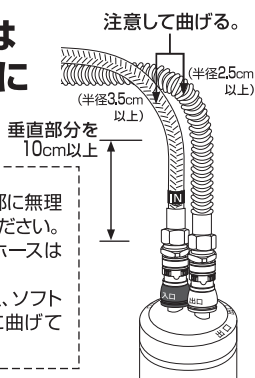


4 新しい浄水器カートリッジと交換します

6 浄水器カートリッジは転倒防止のため受皿に設置してください

△ 注意

- ❗ クイックジョイントに接続する際、ノズル部に無理な力がかからないよう次のことを守ってください。
- ・上部のソフトフレキと浄水器入口側ホースは垂直部分を10cm以上確保する。
 - ・浄水器入口側ホースは半径3.5cm以上、ソフトフレキは半径2.5cm以上でゆるやかに曲げて調節する。

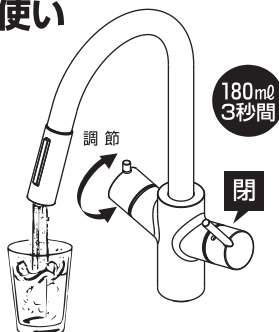


8 適正ろ過流量でお使いください

浄水レバーで調節してください

●適正ろ過流量：

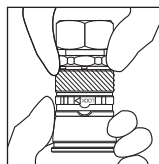
4L/分 (180 mlを約3秒間で)



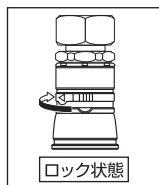
ロック機構のロック・解除方法

セイフティロック機構は、クイックジョイントと浄水器カートリッジの結合時に不意にクイックジョイントが外れないようにする機構です。

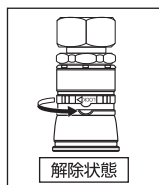
- ① 本体部分 (図の斜線部) とロックリングをそれぞれ手で持ちます。



- ② ロックリングを矢印<の方向にカチッと音がするまで (約90°) 回すとロック状態になります。



- ③ ロックリングを矢印<と逆方向にカチッと音がするまで (約90°) 戻すと解除状態になります。



△ 注意

- ❶ ロックリングの凸部と本体部の凹部の位置が合うまで戻してください。

*あらかじめクイックジョイントを□ク状態にしても取付けは可能です。

異常が生じた場合 修理を依頼される前に

⚠ 注意

簡単な故障はご家庭でも直せますので、修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

現 象	点検場所と原因	処 置
●湯・水(原水)の吐水量が少ない	●湯・水側の止水栓のハンドルが閉まりすぎ。 ●エアレーターが目詰まり。 ●ストレーナーが目詰まり。	●適正水量になるまで止水栓のハンドルを開いてください。 ●エアレーター・ストレーナーを掃除してください。 ※P.11の「混合水栓のお手入れ方法」を参照。
●吐水量が多く、水はねする	●水圧が高い。	●適正水量になるまで止水栓のハンドルを閉じてください。
●止水できない	●混合水栓のセラミックカートリッジの異常。	●お買上げの販売店または(株)メイスイ営業所へお問合わせください。
●高温しか出ない	●水側の止水栓のハンドルが閉まっている。 ●給水圧より給湯圧の方が高い。	●止水栓のハンドルを調節してください。
●低温しか出ない	●湯側の止水栓のハンドルが閉まっている。 ●エアレーターが目詰まり。 ●ストレーナーが目詰まり。 ●給湯圧より給水圧が高すぎる。	●止水栓のハンドルを調節してください。 ●エアレーター・ストレーナーを掃除してください。 ※P.11の「混合水栓のお手入れ方法」を参照。 ●止水栓のハンドルを調節してください。
●混合水栓とホース接続部から水が漏れる	●パッキンの磨耗。	●お買上げの販売店または(株)メイスイ営業所へお問合わせください。
●湯水レバー下部から水漏れ	●混合水栓のセラミックカートリッジカバーの締付けがゆるい。	●お買上げの販売店または(株)メイスイ営業所へお問合わせください。
●湯水レバーがガタつく	●ハンドル止めビスのゆるみ。	●六角レンチでハンドル止めビスを締付けてください。
●スプレーヘッドの吐水が切り換わらない	●スプレーヘッドの異常。	●お買上げの販売店または(株)メイスイ営業所へお問合わせください。
●シャワーホースが戻らない	●水栓下部の配管がシャワーホースに干渉している。	●配管を調整し、シャワーホースに干渉しないようにしてください。
●新しい浄水器カートリッジで浄水が出ない	●入口、出口が逆付けになっている。 ●クイックジョイントと浄水器カートリッジノズルが正しく接続されていない。	●正しい接続方向にしなおしてください。 ※P.14の浄水器カートリッジの交換方法を参照。 ●クイックジョイントと浄水器カートリッジノズルを正しく接続してください。 ※P.14の浄水器カートリッジの交換方法を参照。
●新しい浄水器カートリッジで浄水の吐水量が少ない	●止水栓が全開になっていない。 ●エアレーターにゴミが詰まっている。 ●ストレーナーが目詰まり。	●適正水量になるまで止水栓のハンドルを開いてください。 ●エアレーター・ストレーナーを掃除してください。 ※P.11の「混合水栓のお手入れ方法」を参照。
●使い始めから浄水の水切れが悪い	●しばらくすれば止まる。 ●浄水器カートリッジ内に空気がたまっている。	●浄水器と元止水栓の特徴です。異常ではありません。 ●浄水を出したり止めたりして浄水器カートリッジ内の空気を抜いてください。
●徐々に浄水の吐水量が少なくなった	●浄水器カートリッジが目詰まり。	●お買上げの販売店または(株)メイスイ営業所へお問合わせください。

水漏れ

⚠ 注意

下図にしたがって水漏れ箇所を確認し、処置してください。

●湯水が止まらない。
●レバー部から水が漏れる。

●混合水栓と配管接続部から水が漏れる。

●浄水器カートリッジより水が漏れる。
●クイックジョイント部から水が漏れる。

給水・給湯用止水栓を閉じる。

混合水栓浄水のレバーハンドルを閉じる。

お買上げの販売店、または、「メイスイ・メンテナンス・システム」へお問合わせのうえ、適切なメンテナンスをお受けください。

メイスイ・メンテナンス・システム
直 通 ☎0120-38-0414 ●24時間受付

●混合水栓を快適にご使用いただくための標準的メンテナンススケジュール

部 品 名	交 換 の 目 安	交 換 の サ イ ン
セラミックカートリッジ(湯水レバー側)	使用開始3年程度	・水が止まらない ・レバーから水が漏れる ・レバーの作動がスムーズに動かなくなる
切替弁(浄水レバー側)		・水漏れ ・硬くなる ・引出しにくくなる
シャワーホース	使用開始2年程度	・水道水の中に異片が混ざる ・水が止まらない ・水が漏れる
各部パッキン類		

■この浄水器セットには、元止方式の混合水栓を使用しています。一般的に浄水器と元止方式の給水栓には、水の出かたにおいて、次の様な特徴がありますが、故障ではありません。
●開栓後、浄水が出るまでしばらくかかります。
●閉栓後、浄水が止まるまでしばらくかかります(特に冬期は水温が下がり、よりこの現象が大きく現れます)。

※交換の目安は実際のご使用環境・ご使用状況によって異なり、あくまで目安です。
※安全にご使用いただくために、定期的(月1回)にシンク下の配管の回りを見て、水漏れなどの異常がないことを確認してください。

それでも異常があるときは……

保証について/仕様

- この商品は保証書付きです（保証書はP.19に付いています）。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をお確かめいただき大切に保管してください。
- 保証期間は据付日から1年間です。なお、保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または当社にご相談ください。修理によって機能が維持できるときはおお客様のご要望により、有料で修理いたします。

消耗部品について

浄水器カートリッジは消耗部品ですから保証期間内でも交換は有料になります。

転居される場合

ご転居により、お買上げの販売店または当社のアフターサービスが受けられなくなる場合は、前もって販売店または当社にご相談ください。

ご不明な点は、お買上げの販売店または
(株)メイスイ営業所までお問い合わせください。

仕様

品 名	浄水器	型式 (Ge・1Z-FHGS)
材 料 の 種 類	浄水器本体 ホース 水栓	ポリブチレンテレフタレート、ポリエチレン、ABS樹脂 ステンレス鋼 黄銅、ポリエチレン
ろ 材 の 種 類	活性炭（ヤシガラ）、不織布、中空糸膜、セラミック	
ろ 過 流 量	4.0L/分	
使用可能な最小動水圧	0.1MPa	
浄 水 能 力	遊離残留塩素 (総ろ過水量 100,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) 濁り (総ろ過水量 11,000L、ろ過流量50%、JIS S 3201に基づく試験結果) 総トリハロメタン (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) CAT (総ろ過水量 50,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) 溶解性鉛 (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) 2-MIB (総ろ過水量 15,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) テトラクロロエチレン (総ろ過水量 50,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) トリクロロエチレン (総ろ過水量 50,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) クロロホルム (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) ブロモクロロメタン (総ろ過水量 25,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) ジブロモクロロメタン (総ろ過水量 25,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) ブロモホルム (総ろ過水量 25,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) 陰イオン界面活性剤 (総ろ過水量 15,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) フェノール類 (総ろ過水量 15,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) ジェオスミン (総ろ過水量 20,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201 附属書A 試験結果) ベンゼン (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201 附属書A 試験結果)	
ろ材の交換時期の目安	12ヶ月（1日30L使用の場合で、浄水能力の短い物質を基準としてまとめた）	
使用上の注意	・水道水の飲用基準に適合した水でご利用ください。 ・浄水器カートリッジは消耗品です。必ず定期的に交換してください。 ・ろ材の交換時期の目安は、使用水量、水質、水圧によって異なります。 ・毎朝、ご使用の前に10秒間以上放流してください。 ・2日以上お使いにならなかったときは、3分間以上放流してください。 ・水温35℃以下でご利用ください。 ・凍結の恐れのある場所に設置する場合は、内部を凍結させないようご注意ください。 ・水圧が0.5MPaより高いところでは使わないでください。 ・浄水器や接続部に強い衝撃を与えないでください。水漏れの原因になります。	
連 絡 先	株式会社 メイスイ カスタマーセンター 0120-38-0414	
除 去 可 能 物 質	・PFOS及びPFOA 総ろ過水量 11,000L、除去率80% ・鉄（微粒子状） 除去率80% ・アルミニウム（中性） 除去率80% 浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準（浄水器協会 JWPAS B.210）に基づく	

※硬水を軟水に変えることはできません。
 ※遊離残留塩素0.1mg/L以上の水道水にのみお使いください。
 ※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

認証登録番号	W-15
性能項目	浸出性能・逆流防止性能

メイスイ Ge・1 Z シリーズ おすすめポイント

メイスイメンテナンスシステム (MMS)

「浄水器カートリッジの交換も、メイスイが責任をもってサポートいたします」

浄水器カートリッジは消耗品です。おいしい水をいつでもお使いいただけるよう、メイスイではメンテナンスシステムを完備。お客様一人ひとりの浄水器カートリッジの交換時期などを自社のシステムに登録し、適切なアフターサービスを行っています。



すべておまかせのフルメンテナンスと、経済的なセルフメンテナンスのいずれかをお選びいただけます。



MMSで登録カード投函

お客様はMMSで登録カードに必要事項をご記入の上、浄水器使用開始とともにご投函いただけます。

システムに登録

自社のシステムにお客様の浄水器の設置情報を登録。

※ご登録いただきましたお客様の情報は、あくまでアフターメンテナンスについてのみ利用するもので、その他の目的で利用することは一切ございません。

メンテナンスのご案内

登録から1年毎に浄水器カートリッジの交換をご案内。

フルメンテナンスシステム

メイスイカスタマースタッフが訪問し、浄水器カートリッジの交換と同時にサニテーションを実施します。また、浄水器カートリッジは回収し再資源化を図ります。

セルフメンテナンスシステム

浄水器カートリッジを送付しますので、お客様自身で交換してください。使用済み浄水器カートリッジは再資源化を図るため、メイスイへご返送ください。

メイスイは、サニテーション（ジョイント部や配管パイプの徹底クリーニング）の万全な「フルメンテナンスシステム」をおすすめします。



●水栓、配管の部品入替は別途費用がかかります。

●フルメンテナンスの作業により、製品・部品の保証延長を約束するものではありません。

※メイスイホームページからでもメイスイメンテナンスシステムにご登録いただけます。下記URLまたは二次元バーコードからアクセスしてください。

<https://www.meisui.co.jp/support/>

発売元 株式会社 メイスイ

- 東 北〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野2-1-30
- 北関東〒336-0962 埼玉県さいたま市緑区下野田538
- 東関東〒270-0034 千葉県松戸市新松戸4-170-2
- 東 京〒140-0013 東京都品川区南大井5-27-8
- 東京西〒183-0015 東京都府中市清水が丘3-23-8
- 西関東〒240-0042 神奈川県横浜市保土ヶ谷区上星川12-18-3
- 東 海〒464-0850 愛知県名古屋市中千種区今池4-15-9
- 京 都〒604-8471 京都府京都市中京区西ノ京中御門東町105
- 大 阪〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-27-6
- 阪 神〒651-1412 兵庫県西宮市山口町下山口1-2-9
- 広 島〒730-0005 広島県広島市中区西白島町16-8
- 九 州〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町10-14
- 沖 縄〒902-0061 沖縄県那覇市古島1-15-7

- TEL (022) 293-5655 FAX (022) 293-5755
- TEL (048) 762-8400 FAX (048) 762-8410
- TEL (047) 309-5322 FAX (047) 309-5330
- TEL (03) 5753-2110 FAX (03) 5753-4001
- TEL (042) 319-0551 FAX (042) 319-1880
- TEL (045) 370-5381 FAX (045) 370-2577
- TEL (052) 732-8211 FAX (052) 732-8233
- TEL (075) 823-6211 FAX (075) 823-6233
- TEL (06) 6445-0211 FAX (06) 6445-6911
- TEL (078) 903-3691 FAX (078) 903-3672
- TEL (082) 554-0373 FAX (082) 554-0375
- TEL (092) 474-3886 FAX (092) 474-5174
- TEL (098) 894-8261 FAX (098) 894-8262